

《ディベートのルール》

- 賛成派、反対派に分かれて座る。
- 両派とも同じ時間が与えられる。
- 第1話者は、教科書の本文から立論する。
- 第2話者は、生活経験や取材から得た資料から立論する。
- 第3話者は、最も言いたいことを要約する。その際、反論があれば言ってもいいが、新たな論や資料は出さない。
- 質問は、相手側からでも審判からでもできる。
- 質問への返答は、発表者を中心にグループのだれがしてもいい。
- 審判は、少人数のグループに分かれ、それぞれに観点を絞り判定する。（「話し方」「話の進め方」「資料の使い方」についてコメントする。）
- 時間を守るように努力する。
- グループ、クラス全員で協力して、ディベートを行う。